

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年09月22日

計画の名称	公園施設の長寿命化による持続可能な都市公園づくり(防災・安全)												
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	秋田県,大館市												
計画の目標	秋田県内の都市公園は、施設の老朽化が進んでおり、安全で安心な施設の提供が十分に出来ず、利用者に対するサービス低下が問題となってきた。 このような状況を改善するため、ライフサイクルコストの縮減効果を含んだ維持管理計画、改修計画を作成し、これを基に、施設の改築、更新を適宜すすめていくことにより、県民が満足して利用する公園を整備・管理していく。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,250	A	1,250	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)
1	公園施設の改築・更新により、利用者へのサービス向上が図られることから、県立都市公園の県民利用率(県立都市公園総利用者数/県人口)を87%から88%に増加させる。 事業対象となっている県内都市公園の年間利用者数を測定し、県民利用率(県内都市公園総利用者数/県人口)を算出する。 対象公園：県立小泉瀉公園、県立中央公園、県立北欧の杜公園	87%	87%	88%
2	平成33年度までに、公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築・更新を行い、改築・更新した公園施設の割合を10%増加させる。 長寿命化対策が必要な公園施設のうち、H27～H31年度内に改築・更新した件数の率を算出する。 (5年間における健全化率) = (H27～H31年度内に家畜・更新した公園施設数) / (長寿命化対策が必要な全公園施設数)	0%	6%	10%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
・(国土強靱化地域計画)に基づき実施される要素事業：A-1														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	秋田県	直接	秋田県	-	-	秋田県公園施設長寿命化 対策(重点)	小泉潟公園等3箇所における 運動施設、便益施設、修景施 設の改築・更新 等	秋田市、北秋田 市						600		策定済
	A12-002	公園	一般	大館市	直接	大館市	-	-	大館市公園施設長寿命化 対策(重点)	昭和児童公園ほか14箇所にお ける遊具更新	大館市						70		策定済
	A12-003	公園	一般	秋田県	直接	秋田県	-	-	秋田県公園施設長寿命化 対策(5か年老朽)	小泉潟公園等3箇所における 運動施設、便益施設、修景施 設の改築・更新 等	秋田市、北秋田 市						500		策定済
	A12-004	公園	一般	大館市	直接	大館市	-	-	大館市公園施設長寿命化 対策(5か年老朽)	昭和児童公園ほか14箇所にお ける遊具更新	大館市						80		策定済
											小計						1,250		
											合計						1,250		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
各事業主体の評価を秋田県建設部都市計画課でとりまとめた。	令和5年度
	公表の方法
	事業主体のホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	老朽化施設を改築・更新したことにより、都市公園の魅力が向上したとともに、利用者への安全・安心なサービスの提供が可能となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
日常点検・定期点検等により、公園施設の安全性を維持するとともに、ライフサイクルコスト縮減に努め、今後も公園施設長寿命化計画に基づき施設の維持・修繕・更新を効率的かつ効果的に実施していく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	県民利用率		
	最終目標値	88%	老朽化施設の改築・更新が進み、公園の魅力が向上したことにより、中間年度までは目標値を大幅に上回る利用率であったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限等により、最終目標段階では利用者数が伸びなかった。
	最終実績値	86%	
改築・更新した件数率			
2	最終目標値	10%	
	最終実績値	10%	